

育休中のママが 自分のスキルを活かせる ボランティア

これまでの仕事やスキル、経験を活かしてNPOなどの活動を支援しながら、自身の育児復帰や再就職への一歩を踏み出すママのための期間限定プログラム「ママボノ」に参加した松下美菜子さんにお話を伺いました。

◆他職種の人と交流しながら 新たな経験がしたい

ママボノは、仕事で培った経験・

スキルを活かした社会貢献活動（プロボノ）に子育て中のママが取り組める場です。NPOなどにに対し、6名前後のチームで支援します。約2か月という限られた期間で、子ども連れで参加できるため、育休中のママが多く活躍していました。

私がママボノを知ったきっかけは、2人目妊娠中にSNSでママボノに参加した友人の投稿を見たことです。興味があったものの、「私が提供できるスキルってなんだろう？」と不安がありました。しかし、せっかくの育休中、新しい経験により得るものがありそうだと思い、やってみることにしました。

活動内容は、まず平成30年10月上旬にチームメンバーとの顔合わせから始まりました。メンバーは職歴も住んでいる場所もバラバラで、唯一の共通点は「ママ」ということ。支援先（商店街）のニーズ「地域の人を支える福祉活動が商業振興につながることを市内の商業者に伝えたい。共感してくれる仲間を増やすためのパンフレットを作成



して欲しい」に対し、どのように取り組むかメンバーと検討を始めました。次に10月中旬に支援先団体との顔合わせです。こちらが準備した仮説をもとに先方の考えと熱い想いを聞き、成果物について打合せました。

◆ママボノは「大人の社会科見学」

その後、支援先への理解を深めるためにステークホルダーに行ったヒアリングは、醍醐味の一つでした。カフェ店主や地域包括ケアに取組む医師等に、なぜこの仕事を始めたのか、どのような想いで福祉活動に取組んでいるかなど、普段の生活では聞けない話を聞けたことは楽しかったです。その他、私はパンフレットに掲載するため、市内の現状に関するデータの収集・グラフ化を担当しました。これまで仕事でパワーポイントやエクセルを使用していたことが、ここで活かされました。

普段の会社生活とは違いママボノならではの感じるのは、メンバー間のコミュニケーションです。

東社協の本



ご注文は
東社協図書係まで
☎03(3268)7185
<http://www.tcsv.vac.or.jp/>

NEW 介護等体験マニュアルノート （2018年12月改訂版）

教員免許取得希望者の介護等体験に対する理解を助け、主体的な学習を促進することを目的に刊行している「介護等体験マニュアルノート」の最新改訂版。改訂のポイントは、①学生・学校の教職員の皆様からのご意見を参考に紙質を変更し、書き込みやすさをアップ、②近年の社会福祉関係の法改正を反映し、最新の情勢に対応、③新たに「体験記録の書き方について」と「社会福祉関係用語集」を追加、④昨年度の受入れ施設から寄せられた施設現場からの声を掲載、の4点です。巻末には参考様式集も掲載しています。

◆規格 A4判 / 65頁 ◆発売日 2019.1.18
◆本体 600円+税

高澤流 たのしい舞リハ 踊るリハビリテーション

◆規格 A4変形判 / 113頁 ◆発売日 2009.10.6
◆本体 1,905円+税

社会福祉施設・事業者のための ノロウイルス対応標準マニュアル

※東京都福祉保健局作成「社会福祉施設等におけるノロウイルス対応標準マニュアル（第3版）」に対応
◆規格 A4判 / 124頁 ◆発売日 2006.3.22
◆本体 762円+税

お年寄りの病気の知識（改訂第2版） ～よりよい介護のために～

◆規格 A5判 / 446頁 ◆発売日 2003.12.25
◆本体 2,381円+税

会社では上司・部下という関係や役割分担があります。しかし、ママボノではチームリーダーという役割のみで、成果物の完成に向けてそれぞれがスキル・経験を活かして率直に意見を出し合えました。メンバーの意欲的な姿勢を見て、仕事へのモチベーションが上がりました。

また、メンバー全員がママなので、子どもが風邪をひいたときなどには代わりになるよ」と声をかけ、助け合う雰囲気できており、とても居心地が良かったです。育児についてだけでなく、仕事の話や復職後の不安、今後やりたいことなどの雑談も刺激的でした。メンバーの中には、子育てしながら働く復職後のシミュレーションになったという声もありました。

◆メンバーからのフィードバックが財産

成果物が完成したら、11月下旬の成果報告会で成果物について他のチームに対して発表し、メンバー同士でお互いの良さを強みを

フィードバックし合いました。職場もスキルも異なる社外の人に客観的に自分を評価してもらいう機会は今まであまりなかったため、貴重で嬉しく、ママボノに参加して良かったことの一つです。

私は4月に復職予定ですが、1人目のときは時間に追われ目の前の仕事で精一杯でした。復職後はママボノの経験から、任された仕事にもっと自分の想いを盛り込むことを心掛けようと思います。



活動中の写真

福祉広報

定期購読者募集中!

- 毎月1回8日発行／本体286円+税
- 発行人／小林秀樹 社会福祉法人 東京都社会福祉協議会
東京都新宿区神楽河岸1番1号 ☎03(3268)7171
- 振替口座／00110-4-71955
- <http://www.tcsv.vac.or.jp/>
- ご意見お待ちしております!
- イラスト／加藤由紀 ●デザイン・プリント／株式会社美巧社

※「福祉広報」全ページをホームページに公開しています。
※視覚障害を持つ方に読んでいただくため、テキストデータをホームページに掲載しています。
<http://www.tcsv.vac.or.jp/koho/textdata.html>



◀社会福祉法人をはじめとするさまざまな主体が地域の福祉課題の解決にむけて取り組んでいる実践を「ふくし実践事例ポータルサイト」で紹介しています